

校歌
銀杏の木陰
真理にひろく
みづのりゆたかに
いま結ぶ
木の実尊き掌
幸ありわれら
われらが腕
土のかおりも
さわやかに



発行
大阪府立園芸高等学校大園同窓会
〒563-0037 池田市八王寺2-5-1
印刷
株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
電話 079-284-1380

学び舎に刻まれた台風21号の爪痕

関西圏を中心に過去に例を見ないほどの天災が続いておりますが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

大阪北部地震、西日本大水害、台風21号および北海道胆振地震において被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

去る9月4日に関西圏を巻き込んだ超大型台風21号は、我が校の顔でもあり戦後間もなく現在の場所に移転して70有余年を経た『実習庭園』を中心に大きな爪痕を残しました。

写真にある通り、大高木を中心に根こそぎ倒れたものや幹や枝が風で引き裂かれたものなど、在校当時に実習や遊びの場として慣れ親しんだ場所が見るも無残な惨状になっていることに言葉を失い、この度の台風の威力を改めて痛感させられました。

卒業生はじめ教鞭を執られた先生方におかれましても、

共に時を過ごし思い出を残した学び舎が変わらない姿であり続けるか、面影を残しながらも発展している姿を望まれていると思います。

一昨年に創立100周年を迎えた折、修繕工事を行った同窓会館にも同庭園南側のアラカシが根ごとなぎ倒され、屋根や樋の一部にも被害がありました。

大園同窓会といたしましても、学校と相談しながら緊急に対策を講じ復旧に尽力する所存ですが、卒業生の皆様のご協力なくしてはこれも為し得ません。ご自宅やお身内、友人等が被災して復旧に注力されたり、心を痛めたりされておられる方々も多々いらっしゃると思いますが、敢えて下記に母校復旧支援のお願いをさせて頂いておりますので、温かいご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



実習庭園入口



同窓会館南西角



実習庭園西側



実習庭園内



実習庭園北東角



環境緑化科（旧造園科）苗圃北側

台風21号被害復旧に伴う支援金のお願い

上に掲載させて頂きました通り、この度の台風21号による被害は大規模かつ広範囲なため、大阪府からどれほどの金額が支給されるか判断もつかず、復旧に要する期間も想定しえない折柄、創立記念祭も間近に控えた母校の復旧が急務であると認識致しております。

つきましては甚だ恐縮ではございますが、母校の復旧のためご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

なお、皆様から頂きましたご厚志は、同窓会館および学校復旧のため支出させていただきます。

ご支援いただける方には振込用紙を同封させていただきますので、下記口座にお振込み賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

振込口座 ゆうちょ銀行 00980-5-11461

口座名称 大阪府立園芸高等学校同窓会

今回の台風21号による学校の被災状況をお伝えし、ご理解頂くために内容を変更したことで当会報の発行が遅れましたことを謹んでお詫び申し上げます。

大阪府立園芸高等学校大園同窓会

学校・PTAと共に未来へ

ご挨拶

大園同窓会 会長 小南修身



大園同窓会の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度、鍋谷前会長から歴史ある大園同窓会第4代会長を仰せつかりました昭和40年卒業（高17園）の小南修身と申します。今後のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本校創立60周年時に大園同窓会を設立され、初代会長を務められました小原豊先生は、母校発展のためにと花卉温室や同窓会館のご寄付のもと大園同窓会の礎を築かれ、第2代佐々木太会長は、その後20数年間

にわたり同会の発展に寄与していただきました。更に先代の鍋谷将会長におかれましては、本校100周年記念事業を経て本年までの長きにわたり同会の運営にお尽くしいただきました。

これまで母校の発展にご尽力を賜りました歴代の会長をはじめ、ご協力を賜りました大園同窓会会員皆様に深く感謝しますとともに、この大役を引き継がせていただく重責に身が引き締まる思いでございます。

平成27年11月に本校創立100周年記念式典が盛大に挙行されました

魅力ある教育の創造と発信に向けて

大阪府立園芸高等学校 校長 真鍋政明



大園同窓会会員の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動に對しまして、多大なご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平成30年4月より本校校長を拝命いたしました、真鍋政明と申します。平成3年度から平成16年度までの14年間、フラワーファクトリ科教諭として本校に勤務し、主に草花、植物バイオテクノロジーなどを担当させていただきました。最先端のコンピューター温室フラワースタディハウスでの胡蝶蘭の栽培、菊の栽

培や菊花展への出展等に力を注いだことを懐かしく思っています。

これからは、校長といたしまして、本校のさらなる飛躍と発展に向けて、まい進してまいりますので、何卒よろしく願います。

ところで、安定的な食料生産の必要性や農業のグローバル化への対応など農業を取り巻く社会的環境が変化しています。農業高校に對しましては、農業や農業関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成についての期待がますます高まってまいりました。

本校では、平成24年度から5年間

が、これも鍋谷前会長のもと大園同窓会会員の皆様方が一丸となつての、貴重な多額の金員のご寄付とご協力の賜物とお礼を申し上げるところです。時が過ぎるのは早いもので、もう目前に110周年記念事業が迫ってきており、再び大園同窓会会員皆様のご協力をお願いしなければなりません。

また、本校創立100周年記念事業として一部改修を終えた同窓会館は、今後排水処理事業を実施しなければその利用に制限がかかっている状況ですが、大園同窓会会計画に於いて会費の納入者が少ないため、同窓会報の発行・発送費にも苦慮する現状でもありますので、改めて会員諸氏の同窓会費の納入をお願いするものでございます。

わが大園同窓会は、会員諸氏の親

文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の研究指定を受け、バイオテクノロジー分野を中心に、生徒の科学的素養を育むための先進的な研究プロジェクトを進めてまいりました。それらの成果をもとに、全国レベルでの多くのコンクールや発表会、学会に参加し、毎回優秀な成績を収めています。

また、造園や園芸装飾の分野におきましては、技能検定合格に加え、技能五輪全国大会への出場・入賞をめざし、日々技能の向上に精進している生徒たちも多くいます。

さらに、地元池田市や箕面市のイベントへの参加をはじめ、中学校への出前授業の実施など、地域と一体となった様々な取組を進めており、本校は、都市部にある農業高校としての特色を活かしたユニークな教育活動を展開していると言えます。

学校と共に

PTA会長 田井中陽子



はじめまして、平成29年度会長の高橋佐代子より、本年4月に平成30年度PTA会長を引き継ぎました田井中陽子です。どうぞ宜しくお願い致します。

PTAの存在をご認識されている方は多いと思いますが、具体的な活動状況についてご存知の方は少ないと思いますので、ここで簡単に紹介させていただきます。

主な年間行事といたしましては、創立記念祭のバザーと夏季に生徒の指導によるブドウ狩り、年末には学科持ち回りのイベントなど年2回の講習会を行っております。

我が校のPTAは結束力が強く、学校や地域と一丸となり、子どもたちの活動をサポートしております。

創立記念祭のバザーでは、学校で生産した野菜を使った品物も販売し、近隣の方々にも沢山の来場を頂いて好評を得ています。また、その収益金は、学習奨励金として生徒の研究活動を支援しています。

現在PTAは、役員、実行委員の約40名で構成しており、会議の出席率や行事への参加率も非常に高く、各自が積極的に関わりを持とうとする姿勢が表れています。こうして個々の力が合せることで、大きな力を生み出せることを実感しております。

今後も学校の特色づくりに参画、参加出来る活動を積極的に進めていきたいと思っております。

前同窓会会長・前校長より御礼

思い出深い百周年



大園同窓会 名誉会長
東北大学薬学博士 鍋谷 将

大園同窓会の皆さまはご健勝で、日々お忙しいことと存じ上げます。これまでの同窓会会長は、第一期には小原豊雲先生（池坊家元）が60周年まで長きに渡って務めていただきました。第二期には佐々木太様が90周年まで務めていただきました。私は三期目として12年間同窓会の会長として就任させていただきましたが、この度、

高年齢と共に皆様のご期待に沿える責任が果たせなくなつたと判断し、小南修身氏に会長職をお願いすることになりました。小南氏は前池田市長として活躍された方で、同窓会長として相応しい方です。さて、私が12年間の間、殊に2015年11月に100周年の記念式典ができたことは同窓会の皆様のご支援のおかげと思っています。この時に同窓生の皆様から多大な寄付をお願いし、無事成功することが出来ました。また、2010年には池田

市が大阪府立園芸高等学校を細河地区に移転させる問題を取り上げ、『園芸高校誘致移転に伴うまちづくり構想』が大阪府に提出されました。これを受けて同窓会は反対署名を行い、9,510名の署名が集まりました。署名活動の時には大変お世話になりました。皆様の意を載し、反対署名を持って大阪府知事、府教育委員会、池田市長宛てに提出しました。この件については後に撤回されました。

これまでの同窓会の運営は支部を中心に活動してきましたが、支部会員の担い手が高齢化し、活動が弱体化してきました。この支部活動を若い皆様に加わっていただき活性化して同窓会を支えていかなければなりません。また、支部が出来ていない地域や市町村にも支部を設け、広い地区に分けて情報交流と支部の再編を図り活性化していかなくてはなりません。また、各年代から役員が選出され、横の連絡が出来る体制を構築し、名簿の整理、特に物故者の確認、会報などがスムーズに配布される体制を作らなくてはなりません。さらには現役生徒の活動等の支援が出来やすいように毎年の年会費を納めていただき、同窓会運営にご協力を賜りたいと存じます。

節目の時期を過ごして



大阪府立園芸高等学校
前校長 北之防 勉

大園同窓会会員の皆様こんにちは。皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。私は平成26年度より校長を仰せつかり、昨年度末を持ちまして定年退職となりました。退職にあたりまして、

貴重な紙面をお借りしお礼を申し上げます。在職4年間で本当に大きな行事が多くありました。園芸高校創立100周年記念式典挙行、日本学校農業クラブ連盟全国大会大阪大会の運営など園芸高校の歴史の中でも本場に記憶に残るものばかりでした。私はすべての責任者として任にあたり、

先生方や生徒たちとともに何とか無事に行事を終えることができました。関わっていただいた方がたには、改めて感謝しております。しかし、絶対に忘れてはならないことは大園同窓会の多大なお力添えでした。学校からの資金面を中心とした無理難題を会員の皆様は嫌な顔一つせず、快く受け入れていただきました。校長として、本当にありがとうございました。心強かったです。また同時に改めて大園同窓会の結束力と会員の皆様の母校への想いの強さも感じました。

私事で恐縮ですが、私は本年度4月より園芸高校で1教員として現場復帰させていただいております。7年間のブランクや周りの先生方や生徒たちの反応などに不安は山ほどありましたが、暖かく迎えてもらっています。今後は体の許す限り、園芸高校の為に力を尽くす所存です。大園同窓会会員の皆様には今後とも引き続き、園芸高校の生徒の為に力添えを賜りますようお願い申し上げます。最後に、大園同窓会の更なる発展を祈念いたしましてお礼の言葉とさせていただきます。

創立記念祭のご案内

日時：11月11日（日）
10時～15時

当日は、11時より実習庭園内同窓会館にて紅茶、コーヒーを用意させて頂いております。

同窓会の皆様にはお気軽にお立ち寄りください。

同会館にて住所変更や同窓生のご住所などお判りでしたらご登録ください。

平成31年度 大園同窓会総会・懇親会のご案内

日時：平成31年1月27日（日） 11:00 開会

総会会場：大阪府立園芸高等学校 本館1階会議室

議題：事業報告・会計報告・110周年に向けての事業計画

懇親会会場：池田市民会館1階 レストラン Bridge 宴会場 13:00 開会

年会費を11月末までに納付頂きました方に総会のご案内を12月10日頃発送予定で郵送させて頂いております。

昨年より総会会場を母校本館1階会議室、懇親会を池田市民会館にて開催することと致しましたので、同窓生お誘いあわせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

平成30年度大園同窓会総会報告

平成30年度大園同窓会総会が、平成30年1月28日（日）午前11時より、大阪府立園芸高等学校本館1階会議室にて、懇親会が午後1時より池田市民文化会館レストランBridgeにて開催されました。

1. 鍋谷会長挨拶
2. 北之防学校長挨拶
3. 議案

(1)一号議案

平成29年度・事業報告および会計報告ならびに平成30年度事業計画について
植木事務局長より、同議案について以下の説明がなされました。



①平成29年度事業報告

実施日	事業実績
2月5日	第1回役員会、総会（箕面観光ホテル 大江戸温泉物語）
3月1日	第69回生同窓会入会式（担当：高槻支部）
4月8日	同窓会館改修工事竣工確認検査 第2回役員会
7月22日	第3回役員会
10月1日	会報第41号発行
11月12日	創立記念祭 第4回役員会 幹事会
12月10日	第5回役員会

②会計報告

項目	収入	支出	残高（30年度へ繰越）
前年度繰越金	4,745,736		
その他収入および支出	2,322,797	4,757,033	
計	7,068,533	4,757,033	2,311,500

中井監事が欠席のため、榎原会計より会計報告が行われました。
上記説明の後、議長による採決が行われ、賛成多数により一号議案は承認されました。

(2)二号議案 平成30年 事業計画

①平成30年度 事業計画

実施予定日	事業予定
1月14日	第1回役員会
1月28日	第2回役員会・総会（大阪府立園芸高等学校会議室）
2月28日	第70回生同窓会入会式
4月中旬	第3回役員会
7月下旬	第4回役員会・幹事会
10月1日	会報第42号発行
11月11日	創立記念祭 第5回役員会
12月上旬	第6回役員会
平成31年1月27日	総会（大阪府立園芸高等学校 会議室）

上記説明の後、議長による採決が行われ、賛成多数により二号議案は可決されました。

(3)三号議案 次期大園同窓会会長推挙ならびに承認の件
鍋谷会長より、次期会長候補として小南修身氏の紹介と推挙が行われました。

①鍋谷会長より小南修身氏推挙の説明

上記説明の後、議長による採決が行われ、賛成多数により三号議案は可決されました。

②小南新会長挨拶

③新役員体制紹介

小南新会長より今年度以降4年間の執行部役員の新体制が発表されました。

新役員は以下の通りです（順不同 敬称略）。

・副会長	寺内 勇	・顧問	中井 馨
・副会長	山本 正	・ "	山本 秋三
・会計	榎原佐代子	・ "	上田 政夫
・会計監査	谷端 隆	・ "	阪上 功
・事務局長	植木 充義	・ "	久保 勝平
・名誉会長	鍋谷 将	・ "	森 彰男
		・ "	北口 和平
		・ "	大嶋 誠治
		・ "	渡辺 富夫

④支部役員紹介（順不同 敬称略）

・池田支部長	黒田 尚夫
・豊中支部長	堀 忠善
・箕面支部長	寺内 勇（副会長兼務）
・猪名川支部長	並川 清
・川西支部長	西田 佐智夫
・高槻島本支部長	岡崎 幸雄
・尼崎西宮支部長	芦田 良雄
・大阪南支部長	松本 寿男
・豊能郡支部長	西川 隆夫
・奈良支部長	福崎 滋郎
・東京関東支部長	青木 祥太



4. 園芸高校より

(1)第66回 F F J 近畿大会運営費のご支援について

足立教諭より、標記の件につき説明がなされました。
試算による大会予想運営費総額40万円のうち、20万円の大園同窓会からの支援要請がなされ、意義なく満場一致で承認されました。

5. 事務局より

(1)創立110周年事業計画について

植木事務局長より、『大園同窓会 創立110周年に向けての活動方針』に基づいて説明がなされました。

(2)添付資料の補足説明と提出のお願いが山本副会長よりなされました。

『大園同窓会 同窓会総会出席者 連絡確認表』

6. 懇親会について

最後に総会後の午後1時より池田市民文化会館 レストラン Bridgeにて開催の懇親会の案内がなされ、無事に総会が終了しました。

大園同窓会役員

会 長	小 南 修 身	顧 問	山 本 秋 三
副 会 長	寺 内 勇	顧 問	上 田 政 夫
副 会 長	山 本 正	顧 問	阪 上 功
会 計	榎 原 佐代子	顧 問	久 保 勝 平
会計監査	谷 端 隆	顧 問	森 彰 男
事務局長	植 木 充 義	顧 問	北 口 和 平
名誉会長	鍋 谷 将	顧 問	大 嶋 誠 治
顧 問	中 井 馨	顧 問	渡 辺 富 夫

同窓会支部役員

池田支部長	黒 田 尚 夫
豊中支部長	堀 忠 善
箕面支部長	寺 内 勇
猪名川支部長	並 川 清
川西支部長	西 田 佐智夫
高槻島本支部長	岡 崎 幸 雄
尼崎西宮支部長	芦 田 良 雄
大阪南支部長	松 本 寿 男
豊能郡支部長	西 川 隆 夫
奈良支部長	福 崎 滋 郎
東京関東支部長	青 木 祥 太

卒業生からの近況報告

ビブリオバトルと 出会って

海野 秀

(67期 環境緑化科)
(平成26年卒業)



私が高校3年生の時、当時所属していたクラブの顧問である恩師から、環境分野をより広く学ぶことができる公立鳥取環境大学への進学を勧められ、AO入試を経て入学し現在4回生で在学している。

本学では、環境分野以外にも国際化を図るため英語に力を注いでおり、学内において英語で推薦本をプレゼンテーションする『ビブリオバトル(知的書評合戦)』と出会うこととなった。

『ビブリオバトル』とは、5分間で推薦本をプレゼンテーションし、一番読みたくなった本を選ぶ競技である。これに参加するため、有志数名と共に『本楽部(ほんがくぶ)』というクラブを立ち上げ、全国大会を目指して活動をはじめることになった。

部を設立した翌年の2回生の時には早くも練習の成果が発揮でき、山陰で行われた大会で優勝を果たして中国地方の代表となり、念願の全国大会に出場することができた。山陰大会および全国大会では、『パンダを

自宅で飼う方法 珍獣ペット化シミュレーション』という本を選んだ。

この本は、普通では飼えないような珍獣と呼ばれる動物を実際に自宅で飼うための知識や考察がふんだんに網羅されているユニークな内容である。

プレゼンテーションについては会場の大半の聴衆が高齢者と学生が中心であったこと、馴染みある動物がテーマで、普段では知り得ないこれらの豆知識が集約されているという点において、聴衆の関心を引き出すことが出来た。また、競技の状況に応じて内容を調整できるよう複数の台本を準備していたことも、見事に聴衆の心をつかみ取ることに成功した要因であったと思う。今振り返っても、この時の発表ほど自分の人生の中で自信に満ち溢れた瞬間はなかったと記憶している。

残念ながら全国大会では惜しくも8位で幕切れとなったが、後輩たちをこの舞台へもう一度上げたいという願いから、今は彼等へ発表のノウハウや本の選び方のポイントなどを指導しているところである。

「古墳のみどり」から学ぶこと

植木 充義

(32期 造園科)

平成29年7月に大阪府の南部、堺市と藤井寺市から羽曳野市に広がる『百舌鳥・古市古墳群』が世界文化遺産登録に向け、国内推薦を受けた。世界遺産とは、人類全体のために保護を図るべき世界の遺産として、

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が認定したもので、文化遺産、自然遺産、複合遺産に分類され、文化遺産は国際的に理解可能な資産の価値を証明することの出来る記念物や建造物群、遺跡、文化的景観が対象となっている。

堺市に散在する百舌鳥古墳群には、世界最大と言われる仁徳天皇陵をはじめ5世紀を中心に築造された23基、藤井寺市から羽曳野市に分布する応神天皇陵を中心とする古市古墳群からも、5世紀を中心に築造された26基の古墳がノミネートされている。

築造当初はいずれも石葺であったが、年月の経過によりほとんどの古墳には常緑照葉樹の林が形成されている。

これらの林は、当初石葺であった古墳に生えた草本の群落から、やがて低木の群落に変わり、その後、中高木の林を経て、関東地方南部から九州に至る平地の大部分を占める常緑照葉樹林帯(ヤブツバキクラス域)の究極の林である極相林へと、長き歳月をかけて植物が遷移する道筋を辿り、現在に至っている。

ノミネートされている古墳に生育する樹木は、古代より江戸時代まで、周辺村落の薪炭材を供給する共有林として、人の手が入っているものが多く、明治期以降に治定された陵



墓は、人の立ち入りが厳しく制限されたため、墳丘に生育する樹木の大半は、極相林に至る植物遷移の過渡期にあるものと想定される。

国土の大半が針葉樹の人工林で占められている昨今、極相林は、自然界では原生林に近い林でなければ観察することは出来ないが、天皇陵や皇后陵などの宮内庁の管理に委ねられる陵墓に限っては、今もなお立入りが許されないため、当地域の究極の林である『セイ・カシノ』や『クスノキ林(瀬戸内海沿岸ではタブノキ林)』に近い林相を間近に観察することが出来る。古墳の林は、これらが持つ文化的な価値と同様に植物学を学ぶ我々にとっては、大変意義深く貴重な存在であると思われる。

来夏に決定する『百舌鳥・古市古墳群』の世界文化遺産登録の如何に関わらず、悠久の歴史を辿ってきた『古墳の緑』に目を移して眺めてみるのは如何だろうか。

なお、当文作成にあたり、古墳に関する情報、資料提供と校正、本校図書館に『藤井寺市教育委員会編・ふじいでらの世界遺産学習ノート 百舌鳥・古市古墳群』を3冊寄贈頂いた、藤井寺市世界遺産登録推進室 山田幸弘室長に紙面をお借りして、心より御礼を申し上げます。

大園同窓会事務局よりのお願い

1. 会員データ登録のお願い

会員の現住所等の基本データは、会則に則って(株)サルトにて管理されております。しかしながら、登録更新がなされず、多くの卒業生・教職員関係者が不明扱いになっております。この会報が届いている方以外は、殆どが未登録状態です。幹事の皆様を初め、個々の方々も変更の連絡、又は、変更登録の呼びかけをお願い致します。(連絡先はP8をご覧ください。)

2. 会員データのご提供

学年やクラスの間窓会を開催される場合、幹事若しくは複数名の関係者の連名でお申し込み頂ければ、当該学年やクラスや恩師のデータの一部を提供させていただきます。

お申し込みのあった方々の確認作業を行った上で、お送り致します。

3. 大園同窓会・幹事会を開催します。是非ともご参集下さい。

現在、幹事の委嘱作業を進めています。卒業生の各学年に設置する方向です。既に了解頂いた方々も多数おられますが、まだまだ不足しております。ふるってご参加下さい。

4. 大園同窓会ホームページをリニューアルしています。

是非アクセスして下さい。

同窓会員の交流の場として、また、情報交換の場としてホームページを開設しておりますが、より親しまれるようにリニューアルしております。

コンテンツの充実、アクセスの多様化などを検討しております。卒業生だけではなく、恩師や教職員関係者の方々のアクセス並びに登録を宜しく願います。

園芸高校生徒活動近況報告

■環境緑化科

○3年課題研究の授業の様子

環境緑化科3年生は科目『課題研究』では、造園技術学習の一環として様々な製作活動や調査研究活動を行っています。このうち竹垣班では、日本庭園を飾る網代垣の製作を行っています。写真は竹を割って組み合わせてゆく作業中です。完成には技術と手間がかかりますが、仲間と力を合わせ楽しく作業が進められています。



○資格取得をめざして

環境緑化科では2・3級造園技能士や造園施工管理試験など造園分野の専門資格をはじめ、関連分野の建設機械や玉掛け、刈り払機取扱など様々な資格取得に向けた指導に力を入れています。写真は小型車両建設機械講習2日目の実技講習の風景です。どの生徒も機械操作はじめてでしたが、移動や掘削などの操作が一通りできるようになりました。



■科学コンクール入賞報告

◎フラワーファクトリ科

第3回高校生

フラワーアレンジバトル 準優勝
日本菊花全国大会 和泉市長賞
和泉市議会議長賞

毎日農業記録賞

坊っちゃん科学賞 優良賞
全国高校生理科・科学論文大賞

大阪府学生科学賞

わたしの自然観察路コンクール 優秀賞
団体の部

大阪府専門高校生生徒の

研究文コンクール 入賞

優秀賞

◎環境緑化科

農業関係高校生

エッセイコンテスト 優秀賞

日本昆虫学会小中高生

ポスター発表会 優秀賞

林野庁主催

森林・林業交流研究発表会 審査委員長賞

大阪府統計グラフコンクール

日本環境化学会主催 知事賞
高校環境化学賞

わたしの自然観察路コンクール

個人の部 奨励賞

入賞、優秀賞

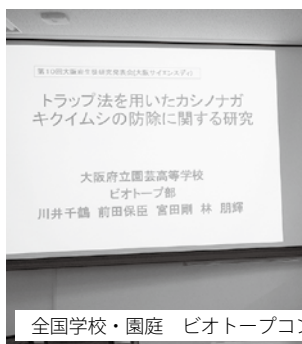
第16回 神奈川大学 全国高校生理科・科学論文大賞レセプション



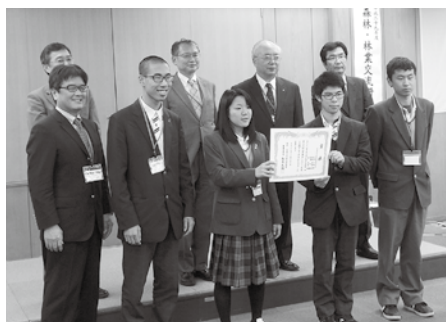
全国高校生理科・科学論文大賞 努力賞



バタフライガーデンに関する手引き書



全国学校・園庭 ビオトープコンクール 奨励賞



林野庁主催 森林・林業交流研究発表会 審査委員長賞



◎バイオサイエンス科

そば甲子園

毎日農業記録賞 優秀賞
地区入賞

全国学校・園庭

ビオトープコンクール 奨励賞

大阪府専門高校生生徒の研究文

コンクール 優良賞 2本



■「第1回 全国高校生
花いけバトル
近畿大会in京都」
(平成29年7月)
予選ラウンド第2位
FF科 草花部

■「第3回 高校生フラワー
アレンジメントバトル
(予選)」
(平成29年8月)
第2位および特別賞
FF科 草花部

第3位
FF科 草花部



■「第3回 高校生フラワーアレンジメントバトル(本選)」(平成29年10月)
準優勝
FF科 草花部



■「第30回 技能向上コンテスト」(平成30年2月)
「一般社団法人
大阪府技能士会連合会賞」受賞
FF科 草花部

2017年度進路状況

(主な就職先) 専門関連企業

大関 サトウ花店、三栄源FBI、敷島製パン、たいよう農園、薔薇園植物園、石勝エクステリア、沢井製菓、稲治造園、茨木国際カントリー、資生堂、ガーデンラボ、ヴァイドフランス、第一共プロファーマ、第一屋製パン、ミナミエーワン、アコデーアゴルフ、鶴屋八幡(現業職)、日本盛、山崎製パン、神戸屋、阪神園芸、京阪園芸、宝塚ゴルフ

非関連企業

ダイハツ工業、小椋工業、ニチイ学館、アバン、堅田漁業協同組合、阪急オアシス、江口電気、金森合成樹脂、阪神髭定、カネボウ化粧品、富士シート、ケーニヒスクローネ、コノミヤ、双葉産業、喜八洲総本舗、日本郵便、蓬萊、朝日エポポートサービズ、にしけい、とれとれ市場、なだ万、宝塚ゴルフ(キャディー)、読売ゴルフ(キャディー)、関西水道用品、コカコーラウエストベンディング、ワタキューセイモア、福山通運、ヤマト運輸、万代、萬栄、他

(主な進学先) (関連)

東京農業大学 南九州大学 相愛大学 京都大学 摂南大学理工学部 大阪青山大学 東洋食品工業短期大学 南九州大学環境園学部 日本大学 甲子園大学 龍谷大学 長浜バイオ大学

辻学園調理・製菓専門学校上級調理師科 岐阜県立国際園芸アカデミー バイオメデイカル専門学校 大阪ECO海洋生物専門学校 大阪動物専門学校 修成建設専門学校 辻調理師専門学校調理技術 日本分析化学専門学校 大阪ECO動物海洋専門学校 兵庫栄養調理製菓専門学校

(非関連)

大阪経済法科大学 大手前大学 夕陽丘学園短大 大阪成蹊大学 大阪人間科学大学 相愛大学 大阪学院大学 大手前短大

大阪ウェディング&ブライダル専門学校 放送芸術学院専門学校 関西保育福祉専門学校 放送芸術学院専門学校 箕面学園福祉保育専門学校 ベルエール美容専門学校 大阪アニメーションスクール 大阪医療技術専門学校 ヒューマンアカデミー 大阪医療福祉専門学校 大阪法律専門学校 神戸電子専門学校 トヨタ神戸自動車大学校 ESPエンターテインメント大阪 大阪リゾート&スポーツ専門学校 阪神自動車航空専門学校 大阪医療福祉専門学校 関西保育専門学校 関西美容専門学校 西日本メイクヘアカレッジ専門学校 他

園芸高校70周年入会式

平成30年2月28日に母校で卒業式の予行がありました。その後、高70回卒業生に対する大園同窓会への入会式を執り行いました。

同窓会代表の岡崎幸雄氏(高槻島本支部長)による記念品贈呈・式辞に続き、幹事となる代表者への委嘱状の授与が行われました。

幹事となられた方を紹介します。

フラワーファクトリ科

環境緑化科

田谷圭大・長谷川純・米辻汰一
神吉未夢
バイオサイエンス科
倉田 大毅・本田じゅらい・桑原流星
小島 里海

離着任の紹介

北之防 佳代子 勉 社会科 本校(再フル)へ	浅田 隆憲 司 体育科 本校(再フル)へ	山田 留喜 夫 体育科 本校(再フル)へ	阿比留 喜夫 体育科 本校(再フル)へ	坂口 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	西村 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	石村 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	谷本 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	杉山 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	古村 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	中村 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	三井 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	森下 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	岩坪 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	才助 伸雅 彦 農業科 本校(再フル)へ	離任	林 幸広 理科 茨木高教諭へ	着任	真鍋 政明 理科 農芸高から	吉田 和仁 理科 農芸高から	中村 和仁 理科 農芸高から	浅田 和仁 理科 農芸高から	佐藤 和仁 理科 農芸高から	青野 和仁 理科 農芸高から	三井 和仁 理科 農芸高から	岡崎 和仁 理科 農芸高から	吉野 和仁 理科 農芸高から	梅田 和仁 理科 農芸高から	南出 和仁 理科 農芸高から	昇任	橋詰 孝明 農業科 吹田支援(教頭)へ	岡田 正澄 農業科 本校首席へ	山内 あずさ 美術 本校首席へ
------------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----	----------------	----	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----	---------------------	-----------------	-----------------

同窓会報告

高21化クラス同窓会を2018年6月23日(土)午後12時より、神戸市中央区のヴァランティーンにて開催しました。



大園同窓会ホームページ <http://www.daiendosokai.com>

同窓会では皆様方の交流の場となりますようホームページを開設しております。今回ホームページをリニューアルし、IDやパスワードがなくても簡単に誰もが閲覧できるようになりました。同窓会では、連絡先や住所の変更依頼を当web上でも受け付けられるようになりました。

詳しいご利用方法、お問合せやこのホームページに関するご意見・ご感想は、下記お問合せ先までご連絡ください。

※また、今回より卒業生の経営される会社や勤務先情報、求人広告等をバナーにてリンクできるように受付させて頂くことになりました。

ご希望がありましたら、1社あたり5万円にて当ホームページにバナーを添付し、会報にも広告として掲載させて頂きます。ご応募をお待ちいたしております。

【問い合わせ先】 info@daiendousokai.comまで

事務局あて先 連絡は郵送がFAX、メールに限ります。電話での問い合わせにはお受けできません。

大阪府立園芸高等学校内 大園同窓会事務局 〒563-0037 大阪府池田市八王寺2-5-1 FAX 072-761-9295

編集後記

大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、40年前の『仙台・宮城県沖地震』直後に受けた『緑地計画』の授業を思い出した。同地震も今回と同じ登校時間に発生し、爾来同地域の官公庁はいち早く助成金によるブロック塀から生垣への変更を推奨し、今や常識となっているとの事であった。震災毎に耐震基準も厳しくなり建築物の強度と共に安全性も高まっているが、避難場所もなっているわが校である、緑の機能を再認識すべき時が来ていると思う。

景観的、アメニティ上、防災機能の観点からも安全性と避難機能を高めることになり、わが校が地域の中心となつて率先的に情報を発信し牽引していく事案である個人的には思っている。人工物は経年と共に劣化するが、維持管理次第で植物は人間以上の生命力を保ち生き続ける。この事象は決して軽視し看過してはならない事柄であり、同じ荷の轍を踏まないよう農学を学びその道を志す者が今一度、緑の機能を再認識すべき時が来ていると思う。